

産学連携の新たな形態 —筑波大学プレ戦略イニシアティブ—

SATテクノロジー・ショーケース2013

■ はじめに

本研究拠点は、筑波大学のプロジェクトとして、数理工学系教員が中心となり構成されています。「大学の基礎研究や蓄積された知財」と「民間会社が研究・技術開発を進める上での必須な理論や基礎的知識」とのマッチングを図るべく本拠点を発足致しました。各教員が少なくとも全労力の10分の1を環境エネルギー技術のイノベーションに捧げます。

従来、企業と大学との協力関係は「共同研究」「寄付講座」等がありますが、実質的な連携に至るまでの道のりが遠く、その結果、大学が産業界に充分貢献していないと考えております。その弊害を払拭すべく、企業の方が気軽に大学と接触できるよう“技術相談制度”を設けました。日々の研究開発での困りごとの解決、次世代テーマ探索のための情報収集、新規分野進出のための基礎技術習得等、にお役立て下さい。

■ 活動内容

1. 技術相談制度の創設

本拠点では産業界のニーズに応えるべく、大学の基礎科学的知見をイノベーションに活用する試みに取り組んでおります。特徴は、「グリーンイノベーションの研究・開発テーマに関わる本拠点研究グループメンバーによる民間会社との共同研究・開発・コンサルテーション」という新しいコンセプトの産学連携を目指すものです。

その第一歩として、“技術相談制度”を創設いたしました。専門分野の合致するメンバーによりミーティングまたは実習形式で行います。

相談内容

- (1) 研究開発上の問題点の解決
- (2) 次世代テーマ探索のための情報収集
- (3) 新規分野進出のための基礎技術習得

その他、ご要望に応じて対処いたします

前記、技術相談が順調に進展し、製品化を視野に置いた共同研究・受託研究に発展させましょう。

2. つくばイノベーションフォーラムの開催

昨年(平成23年)から私たち及び関係する研究者が「最新の環境・エネルギー技術・グリーンイノベーション」をキーワードとしたフォーラムを行ってまいりました。

(右上に続く)

今年開催したフォーラムは下記のとおりです。

- 第3回 2012年5月25日
有機電子・光機能材料の最前線
- 第4回 2012年6月29日
バイオサイエンス
- 第5回 2012年8月7日
グラフェンの材料開発に向けた基礎と応用
- 第6回 2012年10月22日
物性物理学の視点からの二次電池研究

今後も継続して開催いたします。

3. 国際交流

グローバルな活動も始めており、ドイツのCeNIDE(Center for Nanointegration Duisburg-Essen)と連携しています。昨年6～7月の7週間開催されたCeNIDE Nanosummer Program(これは、世界中から研究者が集まりナノテクノロジーについて議論するセッションです。)に院生2名を派遣し、良い刺激を受けて帰ってきました。今年も同じく2名を派遣する予定です。

■ 関連情報等(特許関係、施設)

下欄に示す、数理工学系の11名の教員がメンバーです。

物質工学域	中村潤児	教授
物理学域	守友 浩	教授
物質工学域	丸本一弘	准教授
物理学域	末益 崇	教授
物理学域	岡田 晋	准教授
物質工学域	木島正志	准教授
物質工学域	神原貴樹	教授
物質工学域	山本洋平	准教授
物質工学域	小林正美	准教授
化学域	鍋島達弥	教授
物質工学域	鈴木義和	准教授

技術相談制度の案内パンフレットも用意しています。また、各教員のホームページを参照して、専門分野を把握してお申し出ください。

代表発表者 **武藤 保 (むとう たもつ)**
 問合せ先 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
 筑波大学 学際物質科学研究センター
 プレ戦略イニシアティブ 中村プロジェクト
 TEL: 029-853-5767 FAX: 029-853-4049

■キーワード: (1) 技術相談制度
 (2) グリーンイノベーション
 (3) 環境・エネルギー